

謹賀新年



くみあいだより

J A なんぽろ



JAなんぽろホームページアドレス <http://www.ja-nanporo.or.jp>



南幌町農業協同組合

# 新年のご挨拶



南幌町農業協同組合  
代表理事組合長

林 裕司



記録的な高温・少雨に見舞われました  
が、水稻には影響なく生育も早まり、  
組合員の努力はもとより、その後の天  
候にも恵まれ、農作業も順調に進みま  
した。

新年あけましておめでとうござい  
ます。

組合員の皆様には輝かしい新春を、  
ご家族皆様ご健勝で迎えられました  
ことと心よりお慶び申し上げます。  
また、平素より農協事業に対しまし  
て、組合員をはじめ、南幌町、各関係機  
関よりご支援、ご協力を賜り、心より  
厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は長引き、經  
済波及効果が期待された東京オリン  
ピック・パラリンピックも緊急事態宣  
言下の開催となり、需要の拡大などに  
はつながらず、人々の生活や社会活動  
に大きな影響を与えています。JA事  
業においてもイベントの中止など経  
済活動に影響を与える一年となりま  
した。

昨年の営農にあつては、融雪期は平  
年より一週間程度早く順調に進みま  
した。6月下旬から8月上旬にかけて

水稻は、日照時間が長く、平年より  
も生育が早く進むなど天候に恵まれ  
たことにより全もみ数が多く、7月以  
降は高温で経過したことから、粒の肥  
大、充実が上回り登熟が良好となり、  
作況指数は、北海道「108」、南空知  
で「107」となりました。集荷実績で  
は180,461俵、出荷契約対比  
125.5%となつております。品質  
面では整粒歩合が高く、低タンパク米  
も多く出荷されました。

秋まき小麦は、融雪期が平年より早  
く、融雪後的好天により追肥作業も順  
調に行われましたが、縞萎縮病も多発  
し、収量、品質ともに心配されました。  
6月以降は高温少雨が続き、病害虫の  
発生も比較的に少なく、穗数、一穂粒数  
とともに平年より多く、ライスター・ミナ  
ルの受入実績も9,923tと計画比  
110%、製品反収9.0俵となり、収  
量、品質ともに平年を上回る出来秋と  
なりました。また、大豆をはじめ他畑作  
物、蔬菜等についても一部病害虫等に  
による被害は見受けられましたが、おお  
むね農畜産物全般にわたり3年続いて  
の豊穫の秋を迎え、沢山の農産物の出  
荷、農協事業の利用に対して重ねてお  
礼申し上げるところです。

一方、世界的に終息を見ない新型コ

ロナウイルス感染症について、国内に  
おいてはワクチン接種も進み、落ち着  
きを見せておりますが、依然として需  
要の回復には至つておらず、米・砂糖・  
乳製品を中心に、在庫の積み増しが深  
刻な状況にあり、このような状況が続  
けば、今後の農業、経済活動にも大きな  
影響が心配されるところです。

近年を取り巻く農業情勢について  
は、人口減少や高齢化の急速な進行に  
伴う労働力不足に加え、TPP11、日EU  
・EPA等の国際化の進展、また水田  
活用の直接支払い交付金の在り方など  
について指摘がされています。

さらには、大規模な自然災害の相次  
ぐ発生や、新型コロナウイルス感染症  
を契機とした生産・消費の変化など、  
食料・農業・農村を取り巻く情勢は大  
きく変化しております。生産者は将来に對  
する大きな不安を抱えております。

そのような中、組合員にJAが果た  
すべき役割・責任は一層重大なものと  
して受け止め、今後においても更なる  
繋がりを強化してJAを信頼して利用  
していくいただき、十分満足していただけ  
るように引き続き努力し、組合員の所  
得安定に努め共に持続可能な夢のある  
農協利用をお願い申し上げます。

これからも組合員と農協が課題を  
共有し、農協としてのリーダーシップ  
を發揮し、役職員一丸となつて生産者  
の所得確保を優先に農協事業運営に  
取り組んで参ります。

結びになりますが、迎えた本年が、  
新型コロナウイルス感染症も終息し、  
ご健康とご多幸で過ごされ、災害の無  
い豊穫の秋を迎えることを心からお祈  
い申し上げます。新年のご挨拶とい

ればならないと思つております。  
これから3年間のJA大会の目標に  
沿い、当JAも第15次農協事業中期  
3ヵ年計画をスタートさせる年であります。

これから3年間のJA大会の目標に  
沿い、当JAも第15次農協事業中期  
3ヵ年計画をスタートさせる年であります。  
JAの経営理念「JAなんぽろは、  
最幸の信頼・利用・満足を実現し、組合  
員と地域社会に安心を届けます。」を  
地域社会と信頼関係を深めるとともに  
に、農業所得確保の強化に向けて「現  
状把握と環境整備による収量・収入増  
加」と「所得増加方策の継続」に取り組  
み、力強い農業基盤づくりを展開しま  
すので、組合員各位の特段のご理解  
と、より一層の結集、ならびに積極的  
な農協利用をお願い申し上げます。

これからも組合員と農協が課題を  
共有し、農協としてのリーダーシップ  
を發揮し、役職員一丸となつて生産者  
の所得確保を優先に農協事業運営に  
取り組んで参ります。  
JAの経営理念「JAなんぽろは、  
最幸の信頼・利用・満足を実現し、組合  
員と地域社会に安心を届けます。」を  
地域社会と信頼関係を深めるとともに  
に、農業所得確保の強化に向けて「現  
状把握と環境整備による収量・収入増  
加」と「所得増加方策の継続」に取り組  
み、力強い農業基盤づくりを展開しま  
すので、組合員各位の特段のご理解  
と、より一層の結集、ならびに積極的  
な農協利用をお願い申し上げます。

これからも組合員と農協が課題を  
共有し、農協としてのリーダーシップ  
を發揮し、役職員一丸となつて生産者  
の所得確保を優先に農協事業運営に  
取り組んで参ります。  
JAの経営理念「JAなんぽろは、  
最幸の信頼・利用・満足を実現し、組合  
員と地域社会に安心を届けます。」を  
地域社会と信頼関係を深めるとともに  
に、農業所得確保の強化に向けて「現  
状把握と環境整備による収量・収入増  
加」と「所得増加方策の継続」に取り組  
み、力強い農業基盤づくりを展開しま  
すので、組合員各位の特段のご理解  
と、より一層の結集、ならびに積極的  
な農協利用をお願い申し上げます。

# 令和4年の 年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会  
代表理事長

**小野寺 俊幸**

配されたものの、おおむね平年作を確保することができました。

しかしながら、一昨年から引き続き、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、今までの日常とは大きく変化した1年でありました。農業分野においても例外ではなく各種イベントの自粛、外食の需要減少等の影響により、各作物の消費に大きな影響が出ています。

新年あけましておめでとうござい

ます。

組合員並びに役職員の皆様には、コロナ禍にあってもその苦境にも負けず、日々営農に更に邁進されておられます。

また、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しても、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の本道農業につきましては、春先は天候に恵まれ順調に推移したものの、7月～8月にかけての長期間の猛暑や少雨による干ばつ、また、9月に発生した雹や大雨により、一部の地域や作物によっては、生育が大変、心

適応していくには、改めて、協同組合運動の原点である「対話」を通じて、実践方策を設定し、実践と改善をくり返すことでの変化の波をJA運営に取り込んでいくことが必要であり、組合員・役職員が一丸となつてしっかりと取り組んでいくことが重要となります。

結びになりますが、本年は壬寅年です。十干の「壬」は陽気を下に宿すという意味を持つており、生命の誕生を宿す意味を表します。一方、十二支の「寅」にも壬と同様で、草花が伸びようとする状態を表しています。この謂われにあやかり、本年が豊穣の年となること、新型コロナウイルスの1日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

昨年は第30回のJA北海道大会を開催し、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」という将来ビジョンが決議されました。

コロナ禍やデジタル化への対応、SDGsへの貢献、信用・共済事業はじめとしたJA経営を取り巻く事業環境への対応など、北海道農業、JAGループ北海道を取り巻く環境が急激に変化しており、このような環境に

## 謹賀新年

代表理事組合長

林 裕司

専務理事

高島 茂和

常務理事

辻崎 徹

理事

小谷 恭司

土井 雄治

奈良岡勝利

岩崎 正範

瀬川 徹

織田 章

橋本 寛

代表監事

河村由紀男

常勤監事

小林 信昭

監事

白倉 隆幸

藤本 裕光

# 新年の挨拶



JAなんばろ青年部  
部長 渡辺 純樹

需要減など厳しい状況が続いております。我々青年部も変化し続ける時代に対応していくために一農業者として何ができるのか考え一層の努力をしてまいります。

さて、昨年度の青年部活動を振り返りますと、新型コロナウイルスの影響により総会を書面議決にて行い新役員が承認されました。が、なんばろ冬まつりの中止を皮切りに多くの町内外での活動が度重なるコロナウイルス感染者数の増加により中止となりました。空知管内の青年部との交流や会議などの中止もあり、例年に比べて希薄なものとなってしまいました。厳しい状況の中でJAなんばろ青年部はスノーメッセージの作成、感染予防対策を行った上でのくるるの杜にて雪中野菜の掘り出し、同施設にて野菜の対面販売を行い、消費者との交流・南幌町農業のPR活動を行いました。町内では収穫感謝祭でなんばろピュアライスななつぼしの新米販売を行いました。コロナ禍で青年部全体での活動というものができず、限られた人数での活動となつてしましましたが、本当に僅かながらではあります。が青年部としての役割を全うできたのかなと思います。

新年明けましておめでとうございます。昨年中は青年部活動に際し、各関係機関の方々並びに組合員の皆様にはご理解とご協力頂きましたことを厚くお礼申し上げます。また新型コロナウイルスの影響を受けた方々におかれましては今年度が良い年になることをお祈り申し上げます。

昨年は、前年から続く新型コロナウイルスが変異した変異株が猛威をふるい、感染者数が高い水準で10月頃まで推移しました。経済活動も度重なるまん延防止措置や緊急事態宣言などにより日本のみならず世界的に制限されたものとなり、それに伴い農業においても様々な農産物の消費低迷、価格の下落がありました。農作物の作柄については大きな災害に見舞われることはありませんでしたが6月から半年を上回る気温や日照時間が続いたことにより干ばつ傾向となり、一部作物の生育や農作業に影響が生じました。主要作物である水稻では天候に恵まれたことにより作況指數においても107と前年の106を上回る良作で小麦・大豆においても半年以上の作柄で秋を迎えることができました。しかし、農業を取り巻く現状は食の多様化などによる米のす。

# 新年の挨拶



JAなんばろ女性部  
部長 佐藤 美代子

また、フレッシュミズもコロナ禍のため集まることが出来ませんでしたが、11月中旬頃より武良照美さん宅で整理収納セミナーを5名以内の人数制限をして3日間開催する事が出来ました。

また、ビデオで詳しく説明をしてもらいました。大人数の飲食が制限されていたため、持ち帰りのお弁当の提供となりましたが、2時間という短い時間で少しあは和んでもらえたかと思います。

また、フレッシュミズもコロナ禍のため集まることが出来ませんでしたが、11月中旬頃より武良照美さん宅で整理収納セミナーを5名以内の人数制限をして3日間開催する事が出来ました。

2月の女性部大会も時短での開催を予定をしています。いつも行っているbingo大会も昨年開催出来なかつた分例年に比べ景品は豪華になります。また、お弁当は持ち帰りとし、感染対策を万全にして開催を予定しております。

最後になりますが、新しい変異種オミクロン株が世界規模で感染拡大しています。感染対策を徹底して1人でも多くの女性部員に参加し楽しんで頂ける内容を準備して活動を進めてまいります。

これからも皆様のご協力を頂きたいと考えておりますので、引き続きご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げ新年の挨拶とさせて顶きます。

発行者  
JAなんばろ青年部  
編集責任者 石川 卓也

## 空知南部ブロック青年部大会・ 空知管内JA青年部大会に参加

11月8日（月）、岩見沢市の岩見沢平安閣で開催された空知農協青年部南部ブロック青年部大会に当つA青年部役員3名が参加しました。

大会では、南部ブロックを代表して空知大会で発表を行うJAそらち南部青年部とJA月形青年部による「青年の主張」、JA夕張市青年部とJAびばい青年部による「動画で発信！農の魅力」の発表が行われました。発表後に、日本農業新聞が開催された全道JA青年部大会で発表を行いました。

北海道支所岡田有紀子氏より青年の主張に対する講評が行われ、空知大会へ向けい大会となりました。

同月22日（月）、深川市のラ・カンパニー ホテル深川で開催された空知管内JA青年部大会に前大会同様に青年部役員3名が参加しました。大会では、空知管内の代表単組による「青年の主張」・「動画で発信！農の魅力」・「純農ぼよくなテスト」が行われました。新型コロナウイルス感染症対策



として事前収録による動画発表でしたが、各組趣向を凝らした内容となっていました。大会の後半には北海道ベースボールリーグ発起人の出合祐太氏による講演が行われました。

来賓の方々による審査の結果「青年の主張」では、JA北いぶき青年部の熊谷俊さんが空知代表として選ばれ「純農ぼよくなテスト」では、JAびばい青年部の山門翔太さんが、大賞として選出されました。

今回選ばれた2名は、12月10日（金）に開催された全道JA青年部大会で発表を行いました。

近年は、行事の中止やWEB開催が多くなり他単組との交流が行いにくい状況でしたが、久しぶりに空知管内の盟友と顔を合わせられる貴重な時間となりました。

## 女性部部員視察研修

11月25日（木）、JAなんばろ女性部は南幌町内で部員視察研修を開催し、部員21名

が参加しました。今回の視察研修では、大麦若葉を原料とした青汁を製造している「日生バイオ株式会社」にて工場見学を行いました。

最初に製造施設を見学し、その後、スライドで大麦若葉の栽培から青汁製造までの流れなどの動画を見ました。見学後には、

## フレッシュユミズ整理収納セミナー

11月17日（水）、24日（水）、12月8日（水）の3日間で、フレッシュユミズを対象に整理収納セミナーを開催し、計9名が参加しました。

今回は、整理収納アドバイザーの武良照美さん（鶴城）のお宅を実際に訪問し、楽しく整理収納を学びました。初めに、武良さんのお宅の収納を拝見し、その後自宅の整理整頓に関する悩みを相談し、アドバ

イスをいただきました。今回のセミナーは、自宅の収納等、見直す良いきっかけになったと思います。

のしづく」の試飲をしました。



女性部短信

同社で製造されている大麦若葉青汁「若葉





牛乳でつくる!  
北海道♪ミルクカルボナーラ

材料(2人分)

- ・特選よつ葉牛乳..200ml
- ・よつ葉バター..加塩..10g
- ・フェットチーネなど(なれば普通のパスタで代用可)..200g
- ・ベーコン..50g

作り方

- ①「特選よつ葉牛乳」を使います。
- ②鍋に湯を沸かし、フェットチーネを通常より1分短めにゆでる。
- ③ベーコンは1cm幅に切り、ニンニクはみじん切りにする。卵は溶いておく。

- ④フライパンにバターを入れて火にかけ、ニンニク、ベーコンを炒め、香りが立つたら薄力粉をふり入れて混ぜる。
- ⑤「特選よつ葉牛乳」を注いでひと煮立ちさせ、塩を加えて弱火にする。
- ⑥ゆで上がったフェットチーネをざるにあけ、湯を切って⑤に入れ、軽く混せて火を止め、③の溶いた卵をく

レシピの特徴

生クリームやチーズがないときでも、「特選よつ葉牛乳」の上質なコクで、すっきりとまろやかなカルボナーラが楽しめます。フェットチーネがない場合は、普通のパスタでもおいしくつくれます。

北海道コンサドーレ札幌選手寮

# しまふく寮の レシピ紹介

Vol. 3

北海道コンサドーレ札幌と  
JAグループ北海道は

食農パートナーです!

## 「牛乳でつくる! 北海道♪ミルクカルボナーラ」



北海道コンサドーレ札幌の管理栄養士  
小松先生のコメント

練習や試合前のエネルギー補給に必要な炭水化物、「ビタミンB1」「ビタミンB2」「カルシウム」をすべて兼ねそなえたレシピです。試合の3時間前、1試合分にピッタリのメニューです。1時間半、2時間の練習前にはパスタを增量で! 皆さんもぜひ、お試しください。

北海道コンサドーレ札幌とJAグループ北海道は、相互連携協定を結び、食農教育・社会貢献活動を展開しています!



●コンサ・土・農園



●よい食JA親善大使



JAグループ北海道は、「コンサ・土・農園」や「よい食JA親善大使」を通じて、北海道コンサドーレ札幌とともに、食の重要性を幅広く発信しています。

# 長船技師による営農情報！



## 1 寅年(とらどし)とは

2022年は12支では第3番目に数得られる寅年(とらどし)で壬寅(みずのえ・とらどし)です。中国の漢書によると「壬」は女性の腹に子供を宿す「壬」の一部であることから「はらむ」「生まれる」という意味です。「寅」はもともと「演」が由来といわれ「人の前に立つ」、演と同じ読みの「延(えん)」から「延ばす・成長する」という意味を持っています。

## 2 作況と米価

明治23年(1890年)から平成22年(2010)年までの過去11回の北海道の寅年の水稻作況調査と米1俵価格推移を下記の表にまとめました。水稻反収では昭和25年～平成22年までの6回の寅年の内、4回が作況指数が100を超えていました。米の一俵価格は昭和61年をピークに低下しています。さて本年はどうなるのか、豊穣の秋を祈願するところです。

寅年の水稻反収(kg/10a)・作況指数と販売価格の比較

| 西暦(丑年) | 元号    | 反収(kg) | 作況指数 | 1俵(60kg)価格 | 世相             |
|--------|-------|--------|------|------------|----------------|
| 2022   | 令和4年  |        |      |            |                |
| 2010   | 平成22年 | 525    | 98   | 12,711円    | 鈴木・根岸ノーベル賞受賞   |
| 1998   | 平成10年 | 536    | 105  | 16,217円    | 長野五輪           |
| 1986   | 昭和61年 | 526    | 108  | 18,668円    | 切尔ノブイリ原発事故     |
| 1974   | 昭和49年 | 503    | 117  | 13,615円    | 水稻が3年連続豊作      |
| 1962   | 昭和37年 | 356    | 92   | 4,866円     | キューバ危機         |
| 1950   | 昭和25年 | 328    | 116  | 2,504円     | 湯川秀樹ノーベル賞受賞    |
| 1938   | 昭和13年 | 284    |      | 13円23銭     | 国家総動員法制定       |
| 1926   | 昭和元年  | 119    | 56   | 13円97銭     | 12月25日昭和に改元    |
| 1914   | 大正3年  | 220    |      | 5円12銭      | 第一次世界大戦        |
| 1902   | 明治35年 | 22     | 12   | 4円36銭      | 旭川市で最低気温-41℃観測 |
| 1890   | 明治23年 | 289    |      | 2円04銭      | 第一回衆議院議員選挙     |

注1:北海道の水稻作付面積と反収の推移・作況指数から抜粋作成

注2:米価の推移(政府買入価格 明治21年～平成8年)

注3:米穀の取引に関する報告 農林水産省

# 理事会報告

12月13日

12月定期理事会で審議された主な内訳について、  
次のとおり報告申し上げます。

## 【議案】

1、規程類の改正について

## 【協議事項】

- 1、第15次農協事業中期3カ年計画について
- 2、第7回 営農振興組合長会議の開催結果について
- 3、令和4年度作付計画面積集計（第2次）について
- 4、令和3年度秋の経営懇談会の開催内容について
- 5、11月末 農産物保管状況について
- 6、11月末 蔬菜販売状況について
- 7、11月期 JAローンの貸付について
- 8、内部監査の実施報告について
- 9、組合員異動状況について
- 10、令和3年度第3四半期の固定資産取得、処分について
- 11、永年勤続表彰と記念品について
- 12、年末手当の支給について
- 13、11月末 財務状況について

## ～表紙の紹介～

今月の表紙は、  
当JA役職員の年  
男・女の4名に  
表紙を飾っていただきました。



## 南幌町 フォトコーナー



くみあいだより担当の吉田は、南幌神社でお詣りをしました。



## 編集後記

新年あけましておめでとハヤヒコモア。  
今年は、今までやったことのない新たな挑戦をしてみたいと考えています。  
今年も一年広報なんばろをよろしくお願いいたします。

## 私達のJA

令和3年11月末日現在

組合員 2,715名  
(前年同期比 ▲38名)

正組合員 450名  
(前年同期比 ▲5名)

准組合員 2,265名  
(前年同期比 ▲33名)

正組合員戸数 282戸  
(前年同期比 ▲3戸)